

別記様式第1号（第4条関係）

環の拠点創出事業準備委員会 開催結果の要旨

会 議 名	第4回 木津川市環の拠点創出事業準備委員会		
日 時	平成25年8月23日（金） 午前10時から午前11時50分	場 所	木津川市役所 5階全員協議会室
出 席 者	委 員	<p>■山崎 正史（会長）、□岡井 有佳（副会長）</p> <p>■福井 保知、□川邊 隆司、■坂本 利正、■杉野 耕造、</p> <p>■辻 忠、■出栗 伸幸、■花田 啓、■藤原 久博（代理出席：矢嶋 美千代）、□吉村 由美子</p> <p>※□：欠席者</p>	
	その他出席者	<p>【オブザーバー】</p> <p>京都府総務部自治振興課 参事 藤岡 栄</p> <p>京都府山城広域振興局 企画総務部 企画振興室 室長 湯瀬 敏之</p> <p>【市関係部署】</p> <p>山城支所 支所長 松井 功</p>	
	事 務 局	尾崎課長、奥田補佐、茅早主査	
議 題	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長挨拶</p> <p>3. 議事</p> <p>（1）報告事項</p> <p>・前回までの準備委員会議事の流れ（資料1）</p> <p>（2）協議事項</p> <p>・木津川市環の拠点創出事業に関する提言書（中間案）について（資料2）</p> <p>①第1章 木津川市の現況と環の拠点創出事業</p> <p>②第2章 環の拠点創出事業準備委員会の検討内容</p> <p>③第3章 事業の将来性</p> <p>4. その他</p> <p>（1）今後のスケジュールについて</p> <p>5. 閉会</p>		
審 議 結 果 要 旨	<p>1. 開会</p> <p>事務局より、開会を宣言した。</p> <p>2. 会長挨拶</p> <p>議事に先立ち山崎会長から挨拶があった。</p> <p>3. 議事</p> <p>（1）報告事項</p> <p>・前回までの準備委員会議事の流れ（資料1）</p>		

	<p>事務局より、資料1に基づき説明し、確認した。</p> <p>(2) 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木津川市環の拠点創出事業に関する提言書（中間案）について（資料2） <p>①第1章 木津川市の現況と環の拠点創出事業 事務局より、資料2に基づき説明し、確認し、質疑応答を行った。</p> <p>②第2章 環の拠点創出事業準備委員会の検討内容 事務局より、資料2に基づき説明し、確認し、質疑応答を行った。</p> <p>④第3章 事業の将来性 事務局より、資料2に基づき説明し、確認し、質疑応答を行った。</p> <p>4. その他 次回の委員会は、事務局より後日、通知することとした。</p> <p>5. 閉会</p>
<p>審議経過要旨</p>	<p>1. 開会 審議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 会長挨拶 審議結果要旨のとおり。</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 報告事項 審議結果要旨のとおり。</p> <p>(2) 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木津川市環の拠点創出事業に関する提言書（中間案）について（資料2） <p>①第1章 木津川市の現況と環の拠点創出事業 事務局より、資料2に基づき説明し、確認し、質疑応答を行った。 主な意見・質疑等は次のとおり。 (○…質疑・意見、→…質疑に対する返答)</p> <p>○提言書の出だしから、いきなり茶問屋が出てくることに、疑問を感じる市民があると考え。なぜ、と違和感がないか考えるが。 →サイクリストにターゲットを絞った事業を計画するにあたり、府道京都八幡木津自転車道線の起終点と茶問屋街のある上狛南部地域が近いといった</p>

ことから、本地域を中心とした事業を計画したものである。

○1-2において、表題を「地域における課題」とするよりも、「将来のあるべき姿」のように夢のある文言とした方がよいのではないか。サイクリングや茶問屋街を手段として用い、その結果、本地域の活性化を図ることが分かるようにするべきである。

→「貴重な地域資源の活用に向けて」などに修正し、目指すべき姿を本文に記載することとする。

○1-2を確認すると、いきなり「上狛南部は」となっていることから、違和感があるのではないか。例えば、「木津川市は」から始め、その後にサイクリングの話をするなどに変更してはどうか。

○歴史的にも上狛南部の茶問屋は、価値のある注目すべき場所であることから、あえて茶問屋の文言を下部に変更するなどしなくても良いと考える。

○重要度としては、茶問屋が最初にあるべきと考える。しかしながら、全体として、木津川市の中の茶問屋とする方が、受け止められやすいと考える。

→前段で、木津川市の茶問屋を説明しており、「前述のとおり」などの文言を挿入し、違和感を感じることをないように修正する。

○1-1で、この上狛南部地域を守っていかなければならないということを記述すれば、1-2に繋がっていくのではないか。1-1で、「木津川市左岸には～現在も残されている」を最後にし、魅力を発信したくなるような地域であることをアピールすることで、1-2の課題につなげやすいのではないか。また、「新たな事業を創出する必要がある」ではなく、こんな姿にしたいなどの夢を語ることで、前向きな印象が生まれるのではないか。

→新たな事業を創出するために検討を開始したという表現に修正する。

②第2章 環の拠点創出事業準備委員会の検討内容

事務局より、資料2に基づき説明し、確認し、質疑応答を行った。

主な意見・質疑等は次のとおり。

(○…質疑・意見、→…質疑に対する返答)

○2-1に拠点施設に関することとあるが、前段に施設の必要性等の記述が必要と考える。

○1-2に、サイクリングロードについての記述があり、それを活かした拠点づくりを行い、地域振興に活用するなど記述するべきある。

→拠点施設の必要性について、前段に記述することとする。

○2-3-2で、拠点施設の導入機能の記載があるが、2-1-2の次に記載する方が繋がりやすいのではないか。

	<p>また、導入機能にシャワーの設置の記述はできないか。車で来場した場合、汗を流すことのできる機能が必要と考える。</p> <p>→導入機能の記述について、2-1-2（拠点施設の配置）の後に、変更する。現時点において、シャワーの設置については、予定していない。</p> <p>○シャワーの設置が無理なのは、費用面からであるのか。例えば、ワンコイン（500円）シャワーを設置すれば、採算が取れると考える。ただ、法規制もあると考えるが。</p> <p>○サイクリストとして、泉大橋で自転車を降りる方の使用は考えられるが、嵐山などに帰る方については、サイクリングの途中であることから、使用は見込めないと考える。</p> <p>○しまなみ海道や檀原サイクリングターミナルなど、車で施設に来場し、サイクリングを楽しみ、車で帰る場合によく使用される場所には、シャワー施設の設置がある。</p> <p>本施設は、レンタサイクルを利用する観光客や、トレイルランニングの拠点と需要が見込まれるのではないか。</p> <p>→導入機能について、コインシャワーを追加する。</p> <p>○3頁下に「市外との広域的な観光連携」との記載があるが、本提言書中間案では、取り上げていない。自転車道の北は嵐山、南は飛鳥・檀原まで繋がっていることから、このことについて記載すべきである。</p> <p>→3章の事業の将来性にて、記載することとする。</p> <p>○自転車道の起終点は車道に面しており、初心者には恐怖を感じるのではと考える。こういったことから、自転車道を、現在の木津川左岸から、木津川右岸に変更してほしいとの意見がこれまでから出ている。</p> <p>道路整備も必要なことから、すぐには無理かも分からないが、実現を検討いただきたいと考える。</p> <p>○サイクリストからすれば、木津川右岸も走ってみたいという気持ちはある。城陽市のサイクリングマップには右岸側も取り入れている。災害時、あるいは歩行者、ロードバイクのことも考え、右岸側も整備してほしい。</p> <p>→3章にて、道路整備のことも含めて記載したい。</p> <p>○7頁に記述している「建築基準法に限りなく準じるとともに」は、少しは違反するなど捉えられかねないことから、修正すべきである。</p> <p>また、「アンケート結果のとおり」と記述しているが、アンケート結果の記載がないことから、分かりづらい。</p> <p>→アンケート結果などを記載するよう、修正する。</p> <p>○10頁に記載の「山城町マスコット募集」であるが、市にはいづみ姫というマスコットがあることから、それを活用してはどうか。</p>
--	---

→いづみ姫の活用に修正する。

○8頁の実行委員会方式の「不安視」とあるが、「課題」でいいと考える。
PDCAサイクルについて、詳しく記述すること。

また、「報告書の作成・評価」とあるが、「事業の評価で良いと考える。
→修正する。

○10頁上部に記述している、「サイクリストの誘客のために、個人や自宅
でのおもてなしをおこなう必要がある」とはどういうことか。

市民におもてなしをしていただくといった、文言に修正してはどうか。
→修正する。

④第3章 事業の将来性

事務局より、資料2に基づき説明し、確認し、質疑応答を行った。

主な意見・質疑等は次のとおり。

(○…質疑・意見、→…質疑に対する返答)

○本施設は、市域の中心でもあることから、広域観光の拠点として活用する
ことをアピールしたい。また、市内の観光スポットに関する情報交換の場
としても活用したい。加えて、「広域自転車道のセンター機能」としても
活用してはどうか。

○サイクリングロードの起終点でもあり、端というイメージがあるが、和東
町や、京都・奈良にも行ける「ハブ」的な位置である。本施設を拠点とし、
どこにでも行ける場所として、活用することができる。マップ作成には、
ぜひこのことも考慮し、作成してほしい。

→3-2に、「ハブ機能を持たせ」などの文言を追記する。

○3-3において、「連携した事業運営はなかった」とわざわざ書く必要はな
い。

→修正する。

○3-4において、「どの地域においても一部は近代的な住宅が」とあるが、
新しく住宅を建ててはいけないと感じる。デザインが調和したような建物
であれば問題がないことから、「景観の調和が今後の課題」などに変更し
た方がいい。できれば、「保全」などの文言を使用してはどうか。

→修正する。

○3-2では、茶問屋街と木津本町・船屋地区が同列として記述している。「茶
問屋街と同様に」などに修正してはどうか。

→修正する。

	<p>○3-1について、供給側の視点が強いことから、サイクリストや利用者が楽しむといった視点や、また気持ちを組み入れた記述がほしい。 →修正する。</p> <p>○シティマップに記載する観光スポットについて、統一性がない。また、文字が小さく読み取れない。 →本編はA4サイズにて作成しているが、A3に変更し見やすくする。</p> <p>4. その他 審議結果要旨のとおり。</p> <p>5. 閉会</p>
<p>その他特記事項</p>	<p>傍聴者2名</p>